



No.24

先週土曜日の予定だった栄北オリンピックが 1 日延期になりました。子どもたちの登校後の判断だったため、帰宅後の過ごし方や翌日の対応など、ご家庭での対応もいろいろあったかと推察いたします。申し訳ないと感じつつも、よりよい天候の中で小学校最後の栄北オリンピックを実施できてよかったと思っています。各ご家庭で、状況に合わせた対応ありがとうございました。そして、みんな怪我なく終わってホッとしています。今後も、健康を願い、「卒業」に向けていきます。



朝、見事な虹がかかっていたのですよ。

一度実施を決めた直後のことでした。子どもたちにはずっと、「きみたちは天気には恵まれている。」と言い続けていたので、両端の地面をつなぐ見事な虹がかかったとき、「さすが、6年生。」と思いながら、グラウンドの整備をしていました。

でも、その後20分ほどで小雨になり虹は消えてしまいました。

子どもたちは本来グラウンドに登校でしたが、小雨と寒さから体育館待機となり、その間に「9時開会式」という話になったため、一旦教室に上がりました。その間、わたしはグラウンドで作業をしていたため、直接子どもたちへの指示はしていません。みんな、学校全体の指示で動いていました。順延の判断になるまでに30分ほど時間があり、わたしは子どもたちに遅れること10分ほどで教室に行きました。そこには素敵な光景が広がっていました。

数名が前に出て、楽しそうに盛り上がりながら「一致団結」という言葉のもとに声出しをしていました。どの子もほんのり笑顔でした。一部が盛り上がりとその内容や盛り上がり方に入り切れない子がいることが多いのですが、この時は全員、自然な笑顔に包まれているように見えました。内容も盛り上がり方も全員が納得できる形だったのですね。3組らしい「一致団結」の姿だな、と思いました。

練習では、「ドッジラン」競技は、3組が勝っていました。割と大きな点差で…、だけど、みんな緊張していたのでしょうか。間近で見る表情は楽しそうに見えましたが、どこか動きがかたく見えました。

「リレー」は、練習を重ねていたバトンの受け渡しは、だいたいうまくいっていたと思います。どの子もほぼスムーズ。出だしは2位につけていたので気持ちが高ぶりました。子どもたちの的には成功でしょう。



デザイナーズ5名がアイディアを出し合いデザイン。担任は投映線引きのみ。色作りと色塗りは全員で順番に分担して制作。

圧巻は「栄北ソーラン」。「リレー」から間もないのに準備をてきぱきこなす位置につく姿が見えました。私は、踊りが始まった後の、1～4年生の姿に釘付けになりました。みんな踊りに目を向け、ほとんどおしゃべりなしです。3年生の近くに居たのですが、移動が終わって6年生が目の前に来ると、「すごっ。」とか、「かけー。」などの感嘆のつぶやきが次々聞こえてきます。「あこがれ」られる6年生を目指してきた子どもたちが、はっきりと憧れられる瞬間を間近で体感することができました。

素直に向かっていける目標があるっていいですね。

「卒業」が、次の目標になっていくとよいな、と思います。